

# 11月の天満宮・裸坊祭に向けて 「なっかー」みこし完成

## 中関小、夏休み中に教職員作る

11月26日（土）の防府天満宮御神幸祭（裸坊祭）に向け、中関小は、子どもみこしを刷新し、29日に公開した。昨秋に誕生した地域の

マスケットキャラクター「なっかー」の人形を載せた。古いみこしが傷んでいたため、夏休み中に教職員が段ボールや針金、木

材、新聞紙などを使って作製した。大きさは高さ約1メートル、幅約80センチ。この日、校内のテレビ放送で児童たちにお披露



完成した「なっかー」みこしの前で記念撮影する  
（左から）伊藤結菜さん、将琉君、りおたさん

目。「なっかー」を考案した3兄弟の一人の2年伊藤将琉君が仕上げとして、はちまきにハートマークを取り付けた。「すごく大きくてびっくりした。担いでみたい」と将琉君。姉で4年の結菜さんも「デザインしたキャラクターが形になっとうれしい」と話す。

デザインを仕上げたイラストレーターのおたさん（31）も駆け付けた。「いろいろな場面で使っていたら、より愛されるキャラクターになってほしい。みこしを担いで、良い思い出をつくって」とメッセージを送った。

同小では、児童や教職員、保護者、地域住民たちと11月の裸坊祭に参加する予定にしている。大坪勇一校長は「たくさんの人たちの思いがこもった大切なキャラクター。今後も、さまざまな場面で活用していきたい」という。

（吉野敦裕）